



▲友達と一緒に買い物を楽しむ園児たち

「お店屋さんづくり」で 地域と交流

2月28日、金岡保育園で、山本地区更生保護女性の会（北林テリ子会長）と民生児童委員協議会山本支部（藤原優支部長）の皆さんによる恒例行事「おばあちゃんのお店」が開店しました。

子育て支援の一環として地域内の保育園を年一回輪番制で回って開催されています。近頃では、子どもたちが地域の「めへっこ」（お店）で、少ない小遣いをやり繰りしながら駄菓子を購入する機会も少なく、このお店で楽しんでもらいながら、金銭感覚も養って欲しいと企画しているそうです。子どもたちは、手作りのお金と財布を用意して、好みの駄菓子やおもちゃを大きな袋いっぱいに入し、満面の笑みを浮かべていました。

手づくり作品展示会を開催



▶目を見張る作品の数々

2月17～18日、内鯉川自治会（田中勉会長）の婦人部（田中末子部長）のみなさんが、手づくり作品展示会を開催しました。

手づくりの押絵や羽子板、ひな人形、クラフトバッグ、墨絵など105点を出品。

展示会場の内鯉川集会所では、お茶を飲みながら作品を鑑賞して会員の親睦を図り、子どもたちと一緒にひな祭りのお祝いもしました。

近隣の住民も多数見学に訪れ、連日賑わいを見せていました。

釜谷かもめ会 手作り清拭タオル寄贈

2月23日、釜谷かもめ会（牧野トミ会長）が特別養護老人ホーム美幸苑を訪れ、手作りの清拭タオル約5000枚を贈呈しました。入所者のために使用して欲しいとの思いで企画、同女性部会の会員がそれぞれ自宅などから布やタオルを持ち寄り、使いやすい大きさに裁断して、作りあげました。

牧野会長は、「今後も地域に役立つよう続けていきたい！」と意気込みを語ってくれました。



▲手作りのタオルを寄贈

緊急時に備えて 能代市山本郡医師会 AED寄贈



▲石川副会長から高堂副町長へ手渡される

3月14日、役場で能代市山本郡医師会（山須田健会長）からAED（自動体外式除細動器）が寄贈されました。

医師会の石川副会長から高堂副町長へAED一台の他、救護マットや小児用パッド、AED設置を周知するシールなどが手渡されました。

この事業は、一人でも多くの命を助けられるようにと平成19年度から毎年行われ、今年でちょうど10年目を迎えました。

今回で11台目となるAEDの設置場所は今後決まりますが、これまで役場や体育館、公民館などに設置してきました。